

平成28年度第3四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では後退感が強く、非製造業では足踏み状態

コメント: **【製造業】**

売上高に関しては全体的に低く、大幅なマイナス値であった。対三カ月前比では2期連続回復の動きから一転して大幅に悪化し▲31.3になった。一方、昨年比では2期連続悪化の動きから一転して4.8回復し▲21.9に改善された。三カ月後予測でも回復の動きが見られたが、▲12.5と厳しい見通しである。

景況感についても低い数値が目立ち、景気後退感が見られるが、対三カ月前比と三カ月後予測では回復。さらに、三カ月後予測では12.5とプラス値を示しており、今後の景気動向に期待される。

マイナス金利に関しては「プラスの影響」「マイナスの影響」どちらの影響も見られた。

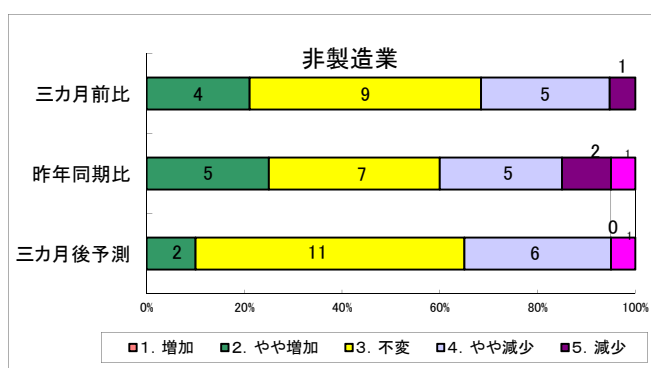
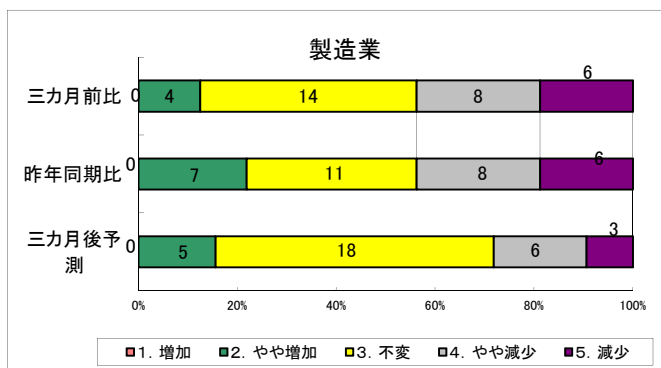
【非製造業】

売上高に関しては目立った動きはなく、足踏み状態であった。しかし、依然マイナス値であり、今後プラス値へ移転できるか調査に期待される。

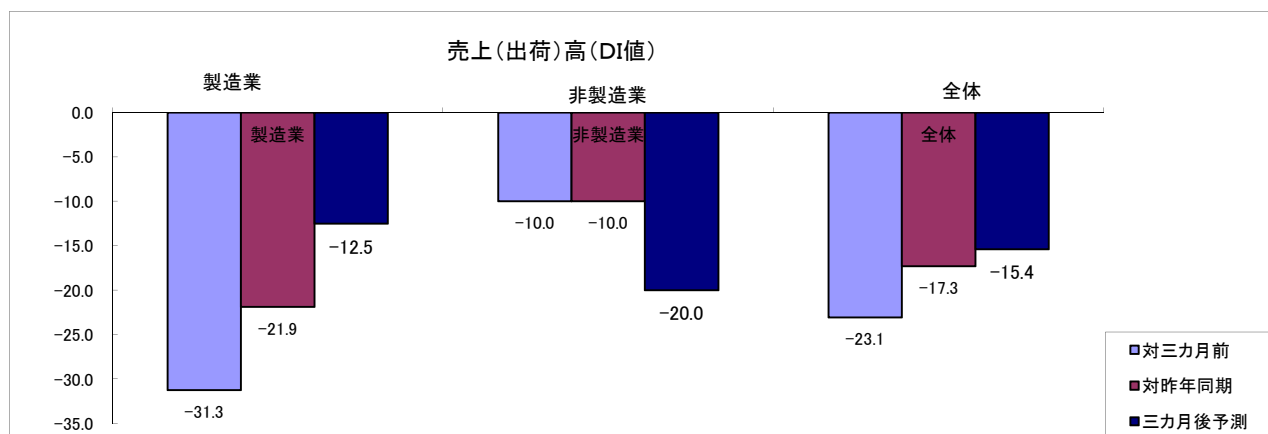
景況感に関しては三カ月前比が前回同様▲25.0であった。昨年比では2期連続の回復から一転して30.0悪化し▲35.0と大幅に下落。三カ月後予測では15.0回復し▲5.0と改善。2期連続の回復であり、今後プラス値まで回復できるか期待が高まる。

マイナス金利に関しては「プラスの影響」の回答はなく、「マイナスの影響」のみとなった。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-31.3	-21.9	-12.5	-10.0	-26.7	-13.3
非製造業	-10.0	-10.0	-20.0	-10.0	-5.0	-20.0
全体	-23.1	-17.3	-15.4	-10.0	-18.0	-16.0

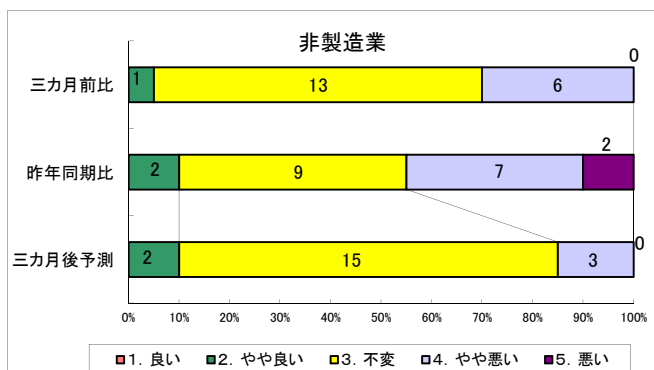
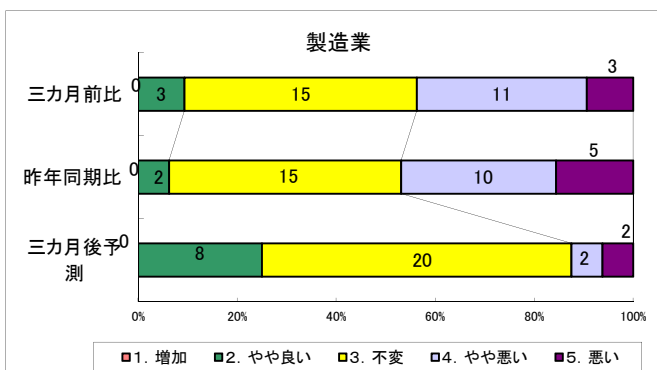


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲10.0から21.3悪化し▲31.3と大幅に下落した。2期連続で回復の動きが見られた前回から一転して大幅に悪化する結果になった。非製造業では前回と変わりなく▲10.0となった。

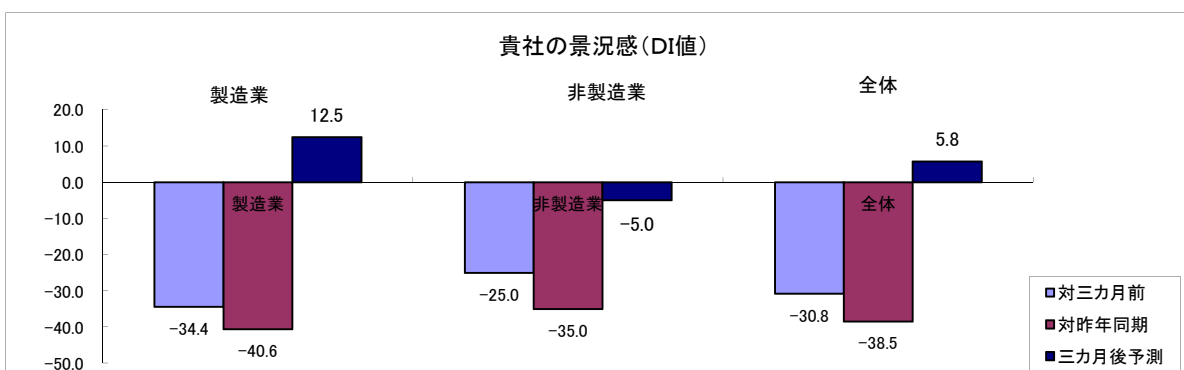
対前年比において、製造業では▲26.7から4.8回復し▲21.9に改善。2期連続悪化の動きから一転回復の動きとなったものの、まだマイナス値であり依然厳しい状況である。非製造業では▲5.0から5.0悪化し▲10.0になり、2期連続で悪化する結果になった。

三カ月後予測において、製造業では▲13.3から0.8回復し▲12.5に改善。改善するもまだマイナス値であり厳しい見通しとなった。非製造業では前回と変わりなく▲20.0となった。依然厳しい状況が続く見通し。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-34.4	-40.6	12.5	-46.7	-40.0	-20.0
非製造業	-25.0	-35.0	-5.0	-25.0	-5.0	-20.0
全体	-30.8	-38.5	5.8	-38.0	-26.0	-20.0

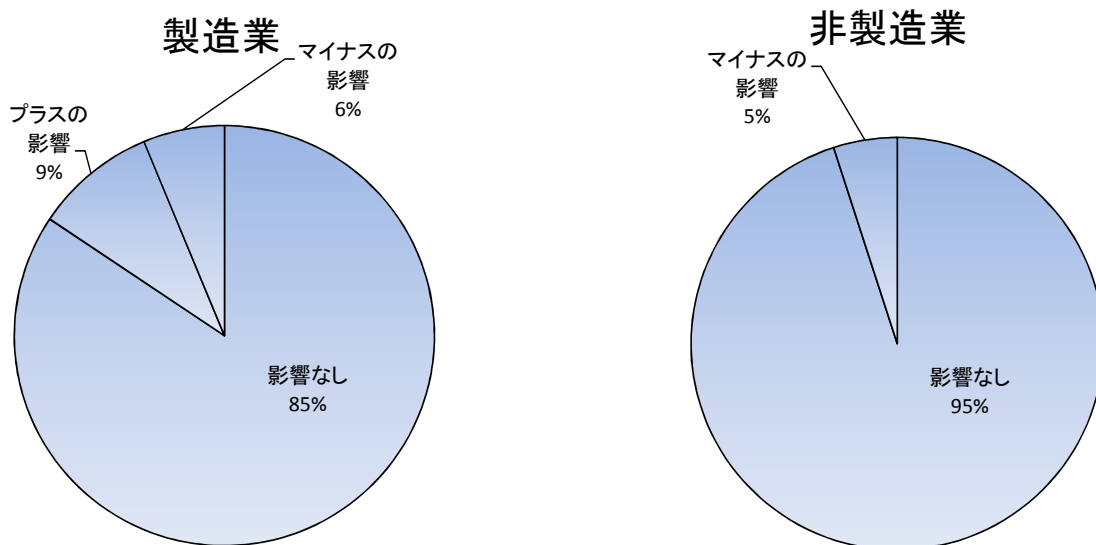


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲46.7から12.3回復し▲34.4と3期連続の下落に歯止めをかけた。非製造業では前回と変わりなく▲25.0となった。依然マイナス値であり厳しい状況が続く。

対前年比において、製造業では▲40.0から0.6悪化し▲40.6とやや下落。3期連続の悪化となり、依然厳しい状況が見られる。非製造業では▲5.0から30.0悪化し▲35.0と大幅に下落。2期連続の回復から一転して大幅に悪化した。両業種ともマイナス値が大きく予断を許さない厳しい状況が続く。

三カ月後予測において、製造業では▲20.0から32.5回復し12.5と大幅に改善。再びプラス値に回復し今後の景気動向に期待が高まる。非製造業でも▲20.0から15.0回復し▲5.0と改善。2期連続で回復しており、プラス値へ移転できるか今後の調査が期待される。

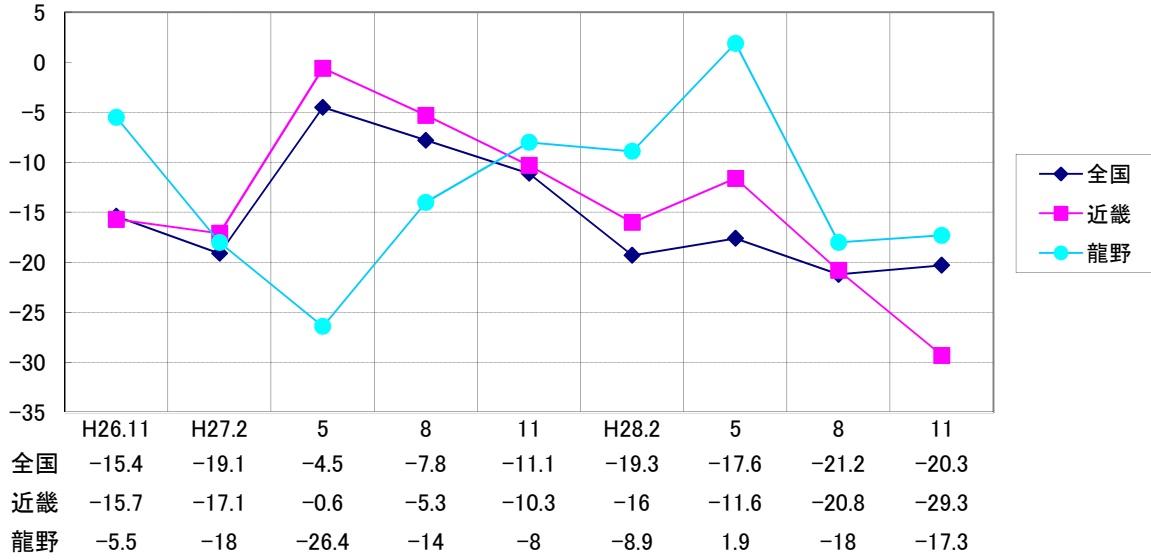
3. 本年2月よりマイナス金利政策が導入されていますが、貴社への影響はどうか？



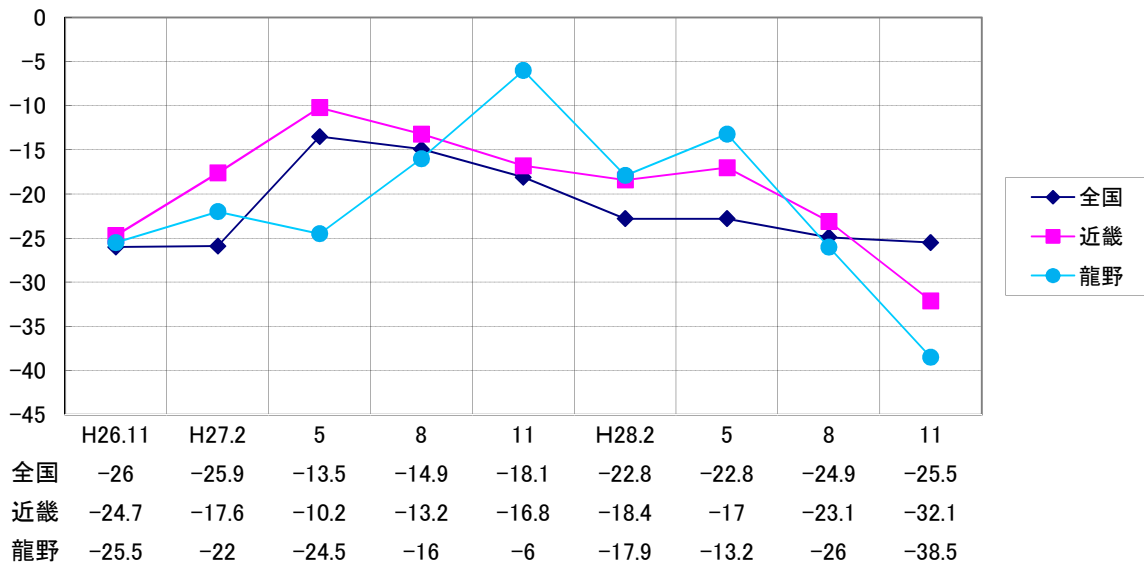
両業種とも「影響なし」が多く、製造業では8割以上、非製造業では9割以上と大半を占めている。
非製造業では「プラスの影響」は見られないが、製造業では9%の事業所が「プラスの影響」があると回答している。
非製造業からマイナス金利について「金融緩和に向かわず、マイナスイメージがある。」というコメントもあった。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査……………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H28. 11の数値は10月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成28年10月25日～11月4日(基準日11月1日)
3. 調査方法 FAXIにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 123社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 対象企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	22
建設業	16
醤油工業	7
食品工業	13
皮革工業	16
公益業	17
サービス業	9
理財	8
商業	15
合計	123

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	74	32	43.2%
非製造業	49	20	40.8%
合計	123	52	42.3%